



記者発表資料

首都直下地震の発生に備え実動訓練を実施します

関東地方整備局では、首都直下地震の発生に備え、一層の災害対応力の向上の為、11月9日(金)に実動訓練を実施いたします。

1. 目的

救命救急活動や緊急支援物資の輸送など円滑な緊急活動を支援するため、道路啓開・水路啓開・航路啓開や大規模浸水地域排水などを実施し、実動訓練を通じてオペレーションの機能性、有効性を確認し、より一層の災害対応能力の向上を図ることを目的に実施する。

また、訓練を通じ関係機関との連携を深めるとともに、職員の災害対応能力の向上を図ります。

2. 日程

平成30年11月9日(金) 【予備日】11月13日(火)(東扇島会場のみ)、11月28日(水)

3. 訓練概要(主な内容)

訓練名:首都直下地震防災訓練(実動訓練)

1) 災害対策本部 訓練会場

時間 : 9:30~12:00

場所 : さいたま新都心合同庁舎2号館

・現地災害対策本部(各訓練会場)とのTV会議等

2) 荒川河川敷 訓練会場

時間 : 10:00~12:00〔予定〕

場所 : 荒川河川敷(荒川ロックゲート周辺)

- ・大規模浸水地域排水訓練
- ・緊急支援物資輸送訓練
- ・水路啓開訓練
- ・燃料供給訓練
- ・UAV被災状況調査訓練

3) 国営昭和記念公園 訓練会場

時間 : 10:00~12:00

場所 : 国営昭和記念公園西立川口駐車場

・道路啓開訓練〔相武国道〕

4) 東扇島地区基幹的広域防災拠点 訓練会場

時間 : 13:00~15:30

場所 : 東扇島地区基幹的広域防災拠点(川崎市川崎区東扇島東公園)

- ・航路・道路啓開訓練
- ・緊急支援物資輸送訓練
- ・津波避難訓練
- ・UAV港湾施設被災状況調査訓練

※実施時間は変更になることがあります。

4. 訓練中止の取り扱い

- 1) 管内で地震災害・風水害等が発生した場合は、延期となります。
その場合については、別途、記者発表にて、連絡させていただきます。
- 2) 予備日において、管内で地震災害・風水害等が発生した場合は、中止となります。

5. 取材希望

取材を希望される報道関係者は、11月7日(水)12:00までに別紙「取材申込書」を用いて企画部防災課に申し込みをお願いします。

なお、訓練会場では、各種訓練を実施しておりますので、安全確保のためヘルメットの着用等、現地スタッフの指示に従ってください。

また、取材時には、必ず腕章又は身分証明書を着用いただくようお願いいたします。着用が無い場合は、取材をご遠慮いただく場合があります。

東扇島地区基幹的広域防災拠点での各訓練の詳細については、首都圏臨海防災センターのHPの記者発表資料を参照願います。

HPアドレス：<http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/kyoku/kawasakibousai/index.html>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 都庁記者クラブ 埼玉県政記者クラブ
横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会、川崎記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局

【訓練全般】

企画部 緊急災害対策調整官 塚本 一三
企画部 防災課 建設専門官 中崎 薫

【河川関係】

河川部 河川管理課 課長補佐 近藤 誠

【道路関係】

道路部 道路管理課 道路構造保全官 畦地 拓也

【港湾空港関係】

港湾空港部 首都圏臨海防災センター センター長 高谷 浩一郎
課長補佐 佐々木 績

企画部 防災課 048-600-1333 (ダイヤルイン)

河川部 河川管理課 048-600-1338 (ダイヤルイン)

道路部 道路管理課 048-600-1345 (ダイヤルイン)

首都圏臨海防災センター
044-281-2330 (ダイヤルイン)

取材申込書

※11/7(水) 12:00までにお申し込みください

国土交通省関東地方整備局港湾空港部

首都圏臨海防災センター 宛

FAX番号 044-281-2331

(11/9 首都直下地震防災訓練 東扇島防災拠点における取材)

会社名		
担当者名		
連絡先：部署等		
電話番号		
取材体制：人数		
レポーター 有無	有	無
インタビュー有無	有	無

連絡事項	
------	--

連絡事項欄は、インタビュー内容など適宜ご利用ください。

※電話でも登録いただけます。

※インタビュー内容についてこちらから問い合わせをする場合がございます。

※ご提供いただいた個人情報は、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律にのっとり、本件に関するご連絡のみに利用し、厳正な管理により取り扱います。

■連絡先

〒210-0869 川崎市川崎区東扇島58-15

担当 首都圏臨海防災センター長 高谷、 課長補佐 佐々木

電話：044-281-2330

FAX：044-281-2331

平成30年度 首都直下地震防災訓練会場位置図

1) 関東地方整備局 (さいたま庁舎)
・本部会議訓練
(各訓練会場とのTV会議)

3) 昭和記念公園西立川口駐車場
・道路啓開訓練

4) 東扇島地区基幹的広域防災拠点
・航路・道路啓開訓練
・緊急支援物資輸送訓練
・津波避難訓練
・UAV港湾施設被災状況調査訓練

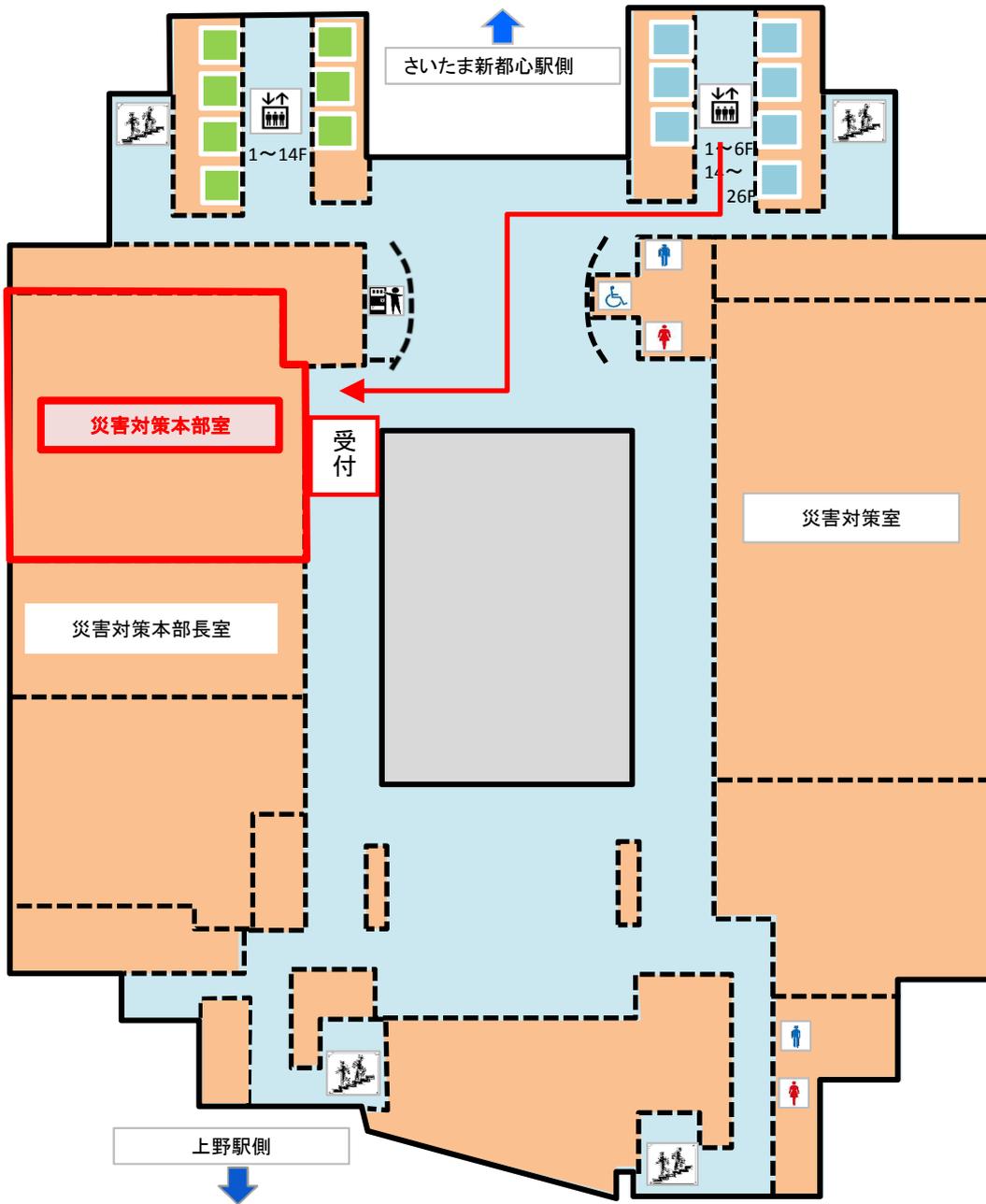
2) 荒川河川敷
(荒川ロックゲート周辺)
・大規模浸水地域排水訓練
・緊急支援物資輸送訓練
・水路啓開訓練
・燃料供給訓練
・UAV被災状況調査訓練

緊急支援物資輸送訓練ルート



■さいたま新都心会場(本部会議訓練)

場所: **災害対策本部室(14階)** 時間 9:30~



国土交通省 関東地方整備局

さいたま庁舎

(港湾空港関係以外)

〒330-9724 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1
さいたま新都心合同庁舎2号館

JR京浜東北線・上野東京ライン(高崎線・宇都宮線)

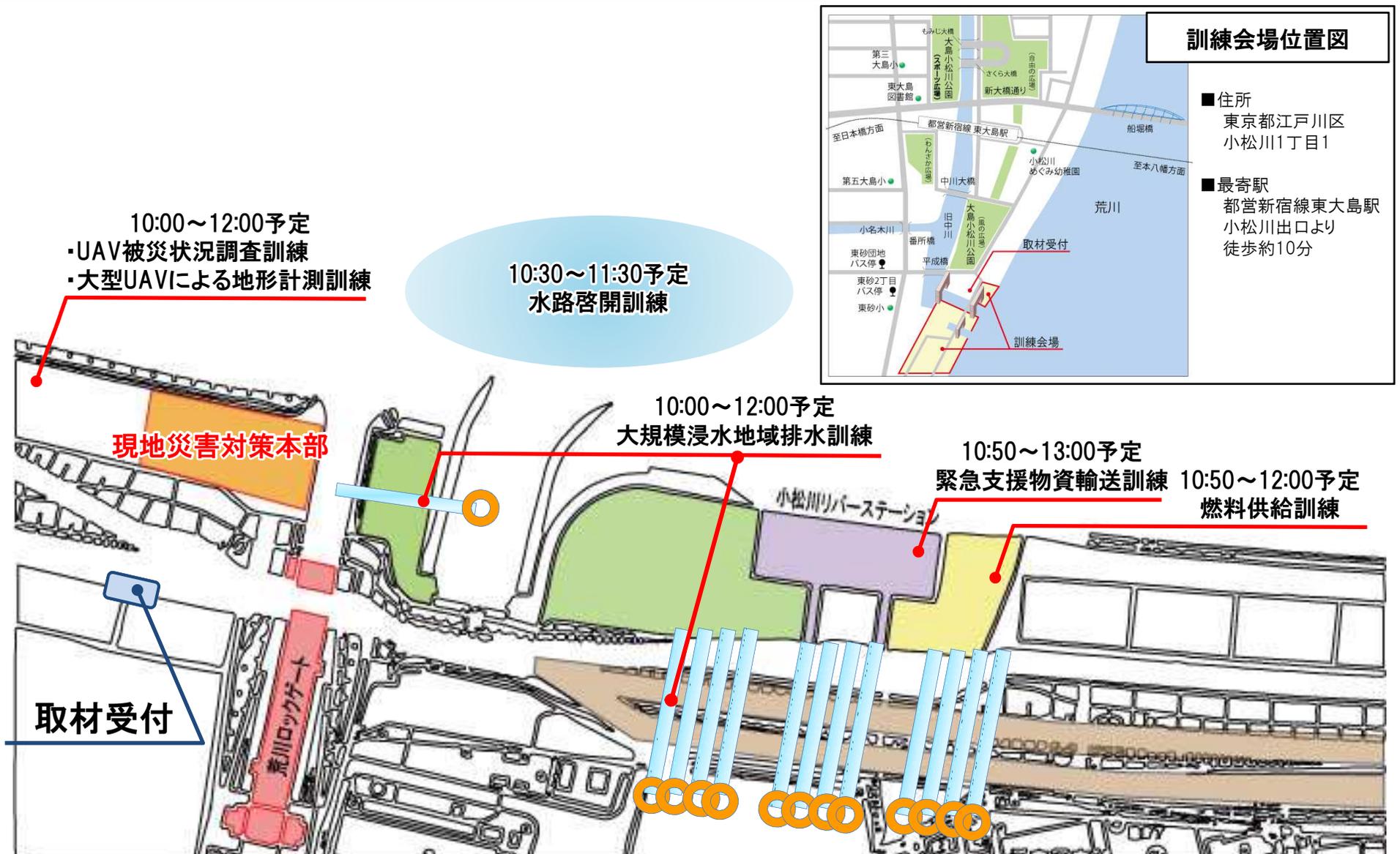
「さいたま新都心駅」から徒歩約5分

JR埼京線「北与野駅」から徒歩約7分

※訓練開始前30分より、さいたま新都心合同庁舎2号館2階ロビーにて、一時通行証の配布及び14階災害対策本部室前で受付を行います。

荒川河川敷 訓練会場〔荒川ロックゲート周辺〕

平成30年度 首都直下地震防災訓練



■ 国営昭和記念公園会場(道路啓開訓練)

平成30年度 首都直下地震防災訓練(実動訓練)

■ 訓練日時

- ・平成30年11月9日(金) 10:00~12:00

■ 訓練会場

- ・東京都立川市(昭島市)
国営昭和記念公園(西立川口駐車場)

■ 主な訓練内容

- ・自転車パトロール訓練
- ・緊急通行車両等標章発行手続き訓練
- ・被災者救助訓練
- ・路面段差解消訓練
- ・放置車両の移動訓練
- ・電柱移動訓練



訓練会場位置図



■ 会場へのアクセス

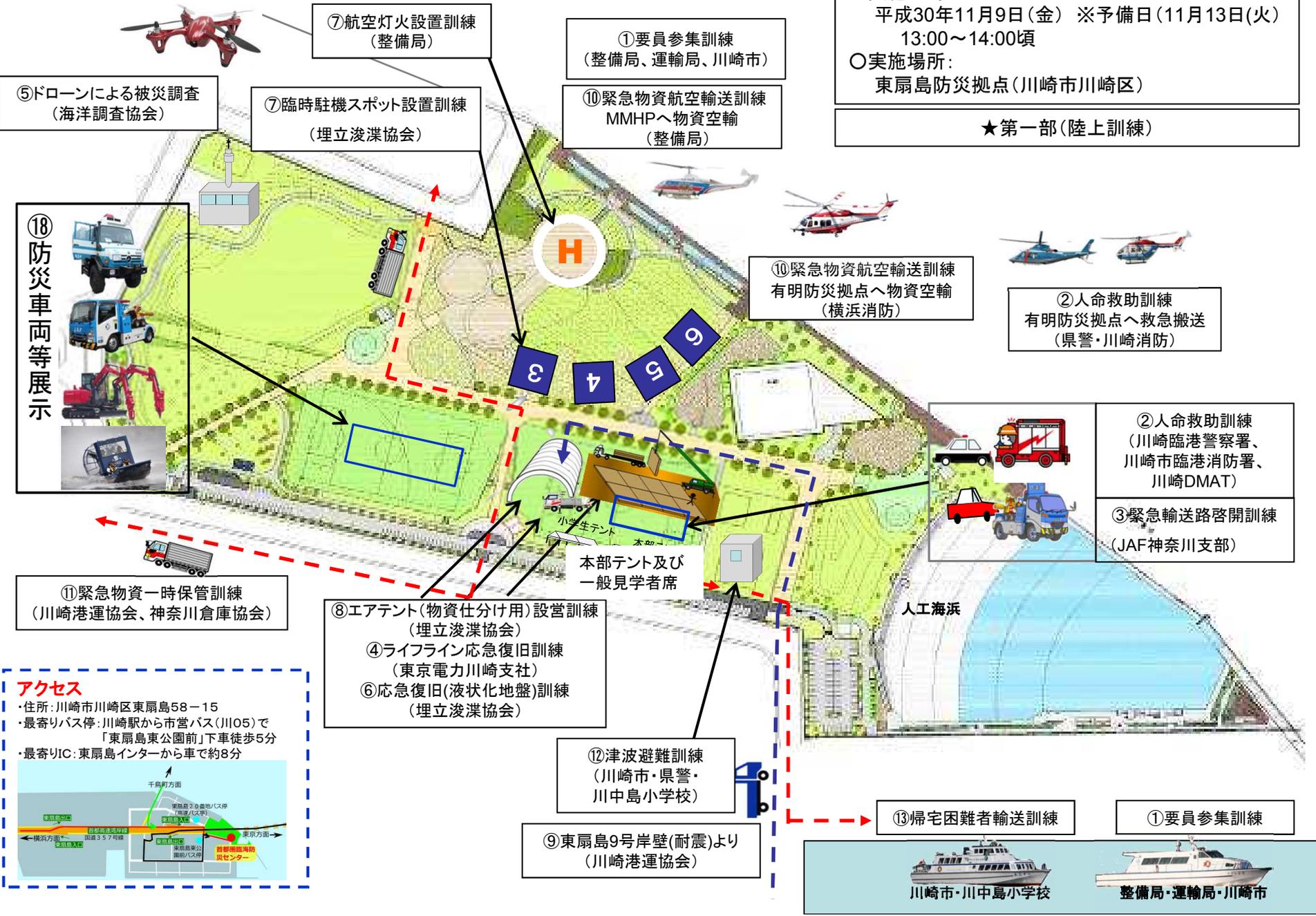
- ・電車でお越しの場合
JR青梅線「西立川駅」より
徒歩約2分
JR中央線「立川駅」より
徒歩約28分
- ・車でお越しの場合
中央自動車道「国立府中IC」より
約8km

■東扇島地区基幹的広域防災拠点会場(緊急物資輸送訓練／航路啓開訓練) 首都直下地震防災訓練(実動訓練)

○実施日時:
平成30年11月9日(金) ※予備日(11月13日(火))
13:00～14:00頃

○実施場所:
東扇島防災拠点(川崎市川崎区)

★第一部(陸上訓練)



⑤ドローンによる被災調査
(海洋調査協会)

⑦航空灯火設置訓練
(整備局)

①要員参集訓練
(整備局、運輸局、川崎市)

⑩緊急物資航空輸送訓練
MMHPへ物資空輸
(整備局)

⑦臨時駐機スポット設置訓練
(埋立浚渫協会)

⑩緊急物資航空輸送訓練
有明防災拠点へ物資空輸
(横浜消防)

②人命救助訓練
有明防災拠点へ救急搬送
(県警・川崎消防)

⑱ 防災車両等展示

②人命救助訓練
(川崎臨港警察署、
川崎市臨港消防署、
川崎DMAT)

③緊急輸送路啓開訓練
(JAF神奈川支部)

⑪緊急物資一時保管訓練
(川崎港運協会、神奈川倉庫協会)

⑧エアテント(物資仕分け用)設営訓練
(埋立浚渫協会)
④ライフライン応急復旧訓練
(東京電力川崎支社)
⑥応急復旧(液状化地盤)訓練
(埋立浚渫協会)

⑫津波避難訓練
(川崎市・県警・
川中島小学校)

⑨東扇島9号岸壁(耐震)より
(川崎港運協会)

⑬帰宅困難者輸送訓練

①要員参集訓練

川崎市・川中島小学校

整備局・運輸局・川崎市

アクセス

- 住所: 川崎市川崎区東扇島58-15
- 最寄りバス停: 川崎駅から市営バス(川105)で「東扇島東公園前」下車徒歩5分
- 最寄りIC: 東扇島インターから車で約8分

■東扇島地区基幹的広域防災拠点会場(緊急物資輸送訓練／航路啓開訓練) 首都直下地震防災訓練(実動訓練)

⑮緊急確保航路啓開訓練
(埋立浚渫協会)



⑮緊急確保航路啓開訓練
(整備局、海保)



○実施日時:
平成30年11月9日(金) ※予備日(11月13日(火))
14:15~15:30頃
○実施場所:
東扇島防災拠点(川崎市川崎区)

⑯物資輸送訓練(海自)
東扇島31号(耐震)→
青海ふ頭(耐震)



海底障害物撤去 浮流油放水拡散



ドローン



★第二部(海上訓練)



⑭応急復旧(仮設橋梁)訓練
(埋立浚渫協会)



本部生テント 本部テント

海底障害物探査



べいさーち



⑰緊急物資航空輸送訓練
みなとみらいHP、有明防災拠点
より物資空輸(陸自)

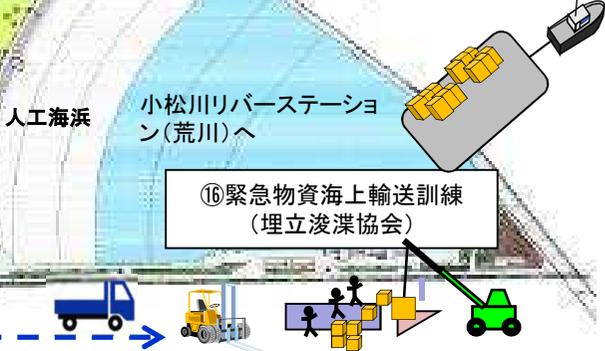
※さいたまと合同訓練
07:00発-11:00到着予定

アクセス

- 住所: 川崎市川崎区東扇島58-15
- 最寄りバス停: 川崎駅から市営バス(川05)で「東扇島東公園前」下車徒歩5分
- 最寄りIC: 東扇島インターから車で約8分

⑱防災車両等展示

⑯緊急物資海上輸送訓練
(埋立浚渫協会)



川崎港運協会
舟運岸壁での台船への積込

関東地方整備局では、一層の災害対応力の向上のため、
11月10日(金)に首都直下地震を想定した実動訓練を防災関係機関と連携して実施しました。

訓練目的

- 首都直下地震の発生に備え救命救急活動や緊急支援物資の輸送など円滑な緊急活動を支援するため、道路啓開・水路啓開・航路啓開や大規模浸水地域排水などを実施し、実動訓練を通じてオペレーションの機能性、有効性を確認し、より一層の災害対策能力の向上を図る。
- また、訓練を通じ関係機関との連携を深めるとともに、職員の災害対応能力の向上を図る。

訓練概要

- 日時:平成29年11月10日(金)
- 訓練会場:
 - ①本局(さいたま庁舎、横浜庁舎)
 - ②荒川ロックゲート
 - ③大師河原河川防災ステーション
 - ④東扇島地区基幹的広域防災拠点
 - ⑤板橋トラックターミナル
 - ⑥関東技術事務所
 - ⑦国土交通大学校
 - ⑧日本大学 大宮キャンパス
 - ⑨足柄SA、谷田部東PA、酒々井PA
 - ⑩有馬ダム(埼玉県飯能市)
- 主催:国土交通省 関東地方整備局
- 参加機関:国・地方公共団体・公共機関等
計30機関4団体 約700名参加



本部会議訓練

○河川及び道路などの直轄施設の被災状況の報告を行うとともに、テレビ会議により、責任啓開事務所、重大被災支部、東京都及び陸上自衛隊と被害報告や支援要請などについて確認を行った。



本部会議



本部長指示

大規模浸水地域排水訓練

○江東デルタゼロメートル地帯の大規模な浸水被害に対応するため、関東地方整備局の排水ポンプ車等の災害対策車両により排水作業を実施した。
○大規模な浸水被害の詳細状況を把握するためUAVによる被災状況調査訓練を実施した。



排水ポンプ車の配置



排水活動の実施

緊急支援物資輸送訓練

○道路、河川、港湾が相互に連携し、緊急用河川敷道路などの河川防災施設を活用した、広域輸送基地(板橋トラックターミナル)までの緊急支援物資輸送訓練を実施した。



支援物資の荷卸し



緊急用河川敷道路を活用した物資輸送

道路啓開訓練

- 平成28年6月に策定された「首都直下地震道路啓開計画(改訂版)」に基づき、放置車両の移動、路面段差解消等の訓練を実施した。
- また、UAV (ドローン)による被災状況調査、電力事業者と連携した倒壊電柱の移動訓練を実施した。



路面段差の解消



放置車両の移動

航路啓開訓練

- 平成27年4月に策定された「港湾における首都直下地震発生時の震後行動計画」に基づき、実動訓練を実施した。
- ヘリコプターによる緊急物資航空輸送訓練を実施した。



航路啓開



海底障害物の撤去

進出本部対応訓練

- 進出本部である関東技術事務所、国土交通大学、日本大学大宮キャンパスにおいて、TEC進出本部の派遣要員による進出本部の立上げを実施した。



関東技術事務所



国土交通大学



日本大学 大宮キャンパス

TEC-FORCE進出訓練

○近接地整である、東北地整、北陸地整、中部地整の各TEC-FORCE隊員が、広域進出拠点または進出本部に参集した。



東北地整(関東技術事務所への進出)



北陸地整(日大大宮キャンパスへの進出)



中部地整(足柄SAからのTV会議)

その他

■TEC-FORCE総合司令部対応訓練

○東北地整、北陸地整、中部地整のTEC-FORCE隊長が関東地方整備局TEC-FORCE総合司令部に参集し、各地整のTEC-FORCE隊員との情報連絡を実施した。



TEC-FORCE総合司令部への参集

■燃料供給対応訓練

○大規模浸水地域の排水活動に必要な燃料を輸送し、仮給油拠点を設置及び排水ポンプ車への燃料供給訓練を実施した。



仮給油拠点の設置(荒川IRG)

■大規模土砂災害緊急調査訓練

○土砂崩れに伴う河動閉塞箇所(天然ダム)について、防災ヘリにより緊急調査を実施した。
○また、災害対策本部室への映像・音声による報告を実施した。



ヘリによる調査結果の報告(TV会議)

■水のう設置訓練

○木造密集地域の火災を想定し、河川水を消火用水として確保するため、水のうによる簡易水槽を設置した。



水のうの設置(荒川IRG)